

令和元年度行政評価市民アンケート結果

1 アンケート調査の実施概要

(1) 目的

第2次みよし市総合計画に掲げた18項目の取組方針における各取組（施策）に対する満足度と重要度について市民の皆さまの考えをお聞きし、今後の住みよいまちづくりに向けた取組への基礎資料とするとともに、更なる行政サービスの向上を図るためにアンケート調査を実施しました。

(2) 調査期間

令和元年12月13日（金）から令和2年1月10日（金）まで

(3) 調査対象者

令和元年11月1日現在において本市に住所を有する18歳以上の市民の方2,000名を住民基本台帳から無作為に抽出しました。

(4) 調査方法

調査対象者の属性に関すること、みよし市の住みやすさなど市全体に関するもののほか、第2次みよし市総合計画に位置づけた取組方針における各取組（施策）に対する満足度と重要度、総合的な満足度を5段階で区分し調査しました。調査票は、郵送により配布し同封した返信用封筒により回収しました。

基本目標	設問	設問の概要（取組方針）
1 安心して子どもを産み育て、誰もが豊かな心を育むまち	1-1	安心して子どもを産み、育てられる環境にしよう
	1-2	心豊かな子どもを育てよう
	1-3	文化に親しみ、交流が盛んなまちにしよう
2 健康で生き生きと暮らせるまち	2-1	豊かに暮らせるようにみんなで助け合おう
	2-2	生涯にわたって健康に暮らせるようにしよう
3 安全で安心して暮らせるまち	3-1	地域で支え合い、災害に強いまちをつくろう
	3-2	交通事故や犯罪のないまちをつくろう
4 魅力と活力があふれるまち	4-1	工業のさらなる成長を支えよう
	4-2	まちのにぎわいや魅力を生み出そう
	4-3	地域の農業と多面的機能を持つ農地を守り、次代につなげよう
5 自然環境を守り未来へつなぐまち	5-1	緑を守り育て、まちを美しくしよう
	5-2	環境にやさしいまちにしよう
6 快適で暮らしやすいまち	6-1	生活の基盤が整ったまちをつくろう
	6-2	便利で快適な住環境をつくろう
	6-3	多様な世代の定住・移住を促進しよう
まちづくりの進め方	7-1	市民が参画し、ともに支え合う協働のまちづくり
	7-2	透明性の高い開かれた市政
	7-3	効果的・効率的で安定した行財政運営

(5) 回答結果

アンケートは、816人(40.80%)の方から回答をいただきました。性別、年齢、居住地区などの詳細は、以下のとおりです。

(性別・年齢別一覧)

区分		11月1日時点 人口(人)	配布対象者 (A)(人)	(A)の構成比	回答数 (B)(人)	(B)の構成比	回答率 (B/A)
総計		61,138	2,000	—	816	—	40.80%
性別	男性	31,412	1,041	52.05%	369	45.22%	35.45%
	女性	29,726	959	47.95%	426	52.21%	44.42%
	その他	—	—	—	7	0.86%	—
	性別未記入	—	—	—	14	1.71%	—
年齢	18～29歳男性	4,836	182	9.10%	38	4.66%	20.88%
	18～29歳女性	4,261	136	6.80%	38	4.66%	27.94%
	30～39歳男性	4,181	157	7.85%	46	5.64%	29.30%
	30～39歳女性	3,637	123	6.15%	50	6.13%	40.65%
	40～49歳男性	5,180	215	10.75%	62	7.60%	28.84%
	40～49歳女性	5,061	224	11.20%	115	14.09%	51.34%
	50～59歳男性	4,568	195	9.75%	68	8.33%	34.87%
	50～59歳女性	4,017	169	8.45%	77	9.44%	45.56%
	60～64歳男性	1,430	64	3.20%	29	3.55%	45.31%
	60～64歳女性	1,274	61	3.05%	33	4.04%	54.10%
	65～74歳男性	2,776	121	6.05%	73	8.94%	60.33%
	65～74歳女性	2,975	124	6.20%	58	7.11%	46.77%
	75歳以上男性	2,246	107	5.35%	53	6.50%	49.53%
	75歳以上女性	2,576	122	6.10%	55	6.74%	45.08%
年齢・性別未記入		—	—	—	21	2.57%	—
居住地区	おかよし	22,849	774	38.70%	332	40.68%	42.89%
	きたよし	8,784	251	12.55%	97	11.89%	38.65%
	なかよし	23,109	770	38.50%	291	35.66%	37.79%
	みなよし	6,396	205	10.25%	78	9.56%	38.05%
	地区未記入		—	—	—	18	2.21%

(6) 今後の活用方法

本アンケートを行政評価(施策評価・事務事業評価)における、令和元年度の実績として活用するとともに、今後のまちづくりへの取組にあたり経年変化や回答者の属性などデータを分析することにより、効果的な行政サービスの実現のために役立てていくこととします。

2 アンケート調査結果

【凡例】

nは回答者数、M. T. (Multiple Total の略) は複数回答の質問において回答数の合計を回答者(n)で割った比率を、それぞれ示す。

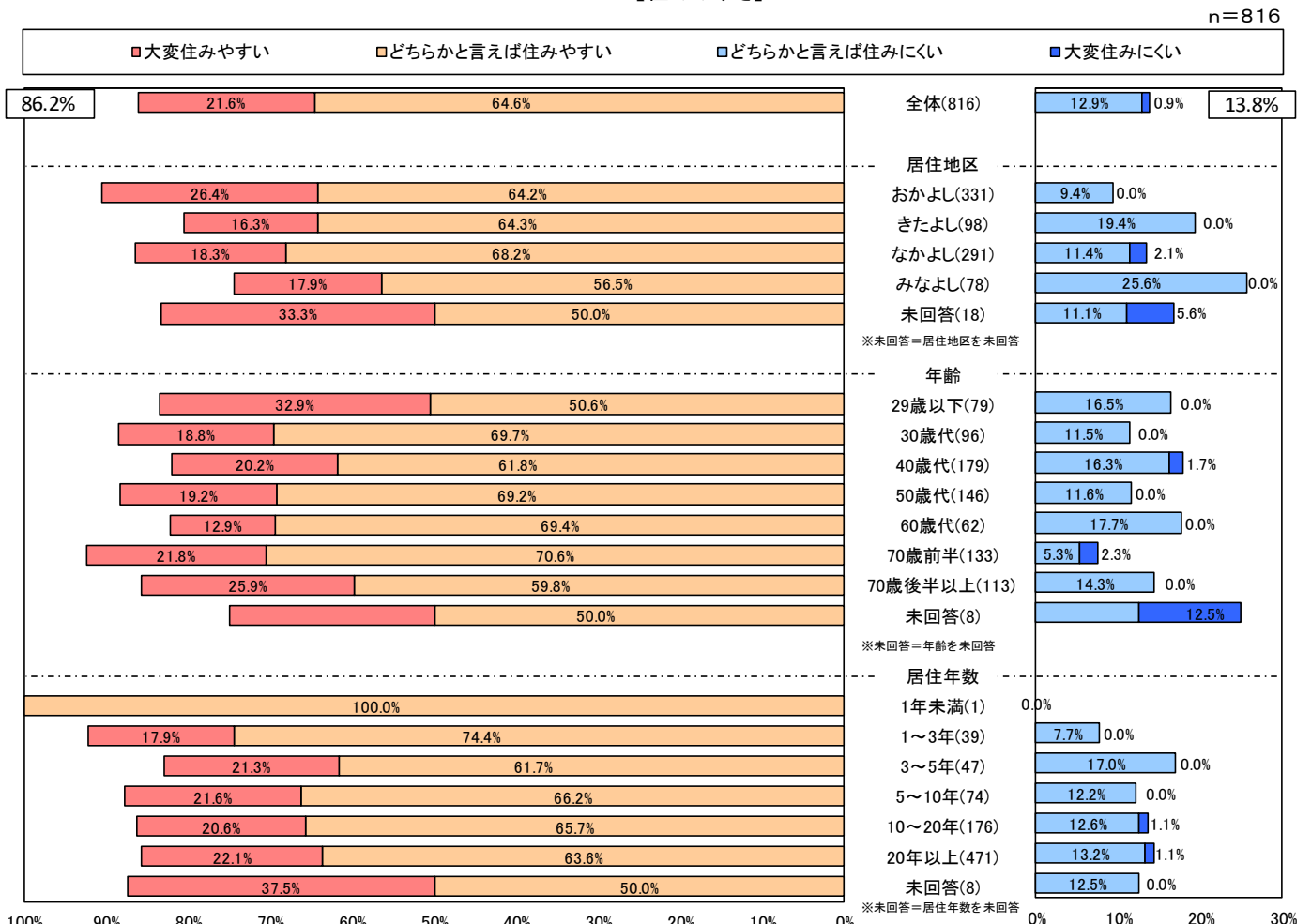
(1) 住みやすさについて

みよし市の住みやすさについて、全体では「どちらかといえば住みやすい」が64.6%と最も多く、次いで「大変住みやすい」が21.6%と、およそ9割(86.2%)の人が“住みやすい”と評価しています。一方、「大変住みにくい」(0.9%)と「どちらかといえば住みにくい」(12.9%)を合わせた、“住みにくい”とした人はおよそ1割(13.8%)となっています。

世代別でみると、“住みやすい”とした人の割合は、「70歳前半」が最も高く92.4%で、次に「30歳代」の88.5%で、最も低いのが「40歳代」の82.0%となっています。さらに、居住年数別では、「1年以上3年未満」の92.3%、「20年以上」では85.7%の人が“住みやすい”と回答しています。また、今後も住み続けたいかという問いに対しては、88.6%の人が「今後も住み続けたい」、「どちらかといえば住み続けたい」と答えています。

“住みやすい”と思う主な理由としては、「住環境がよい」301件(36.9%)、「自然環境が良い」277件(33.9%)、となっています。一方、“住みにくい”と思う理由は、「電車・バスなどの交通の便が悪い」86件(10.5%)、「買い物や外食の利便性が悪い」69件(8.5%)となっています。

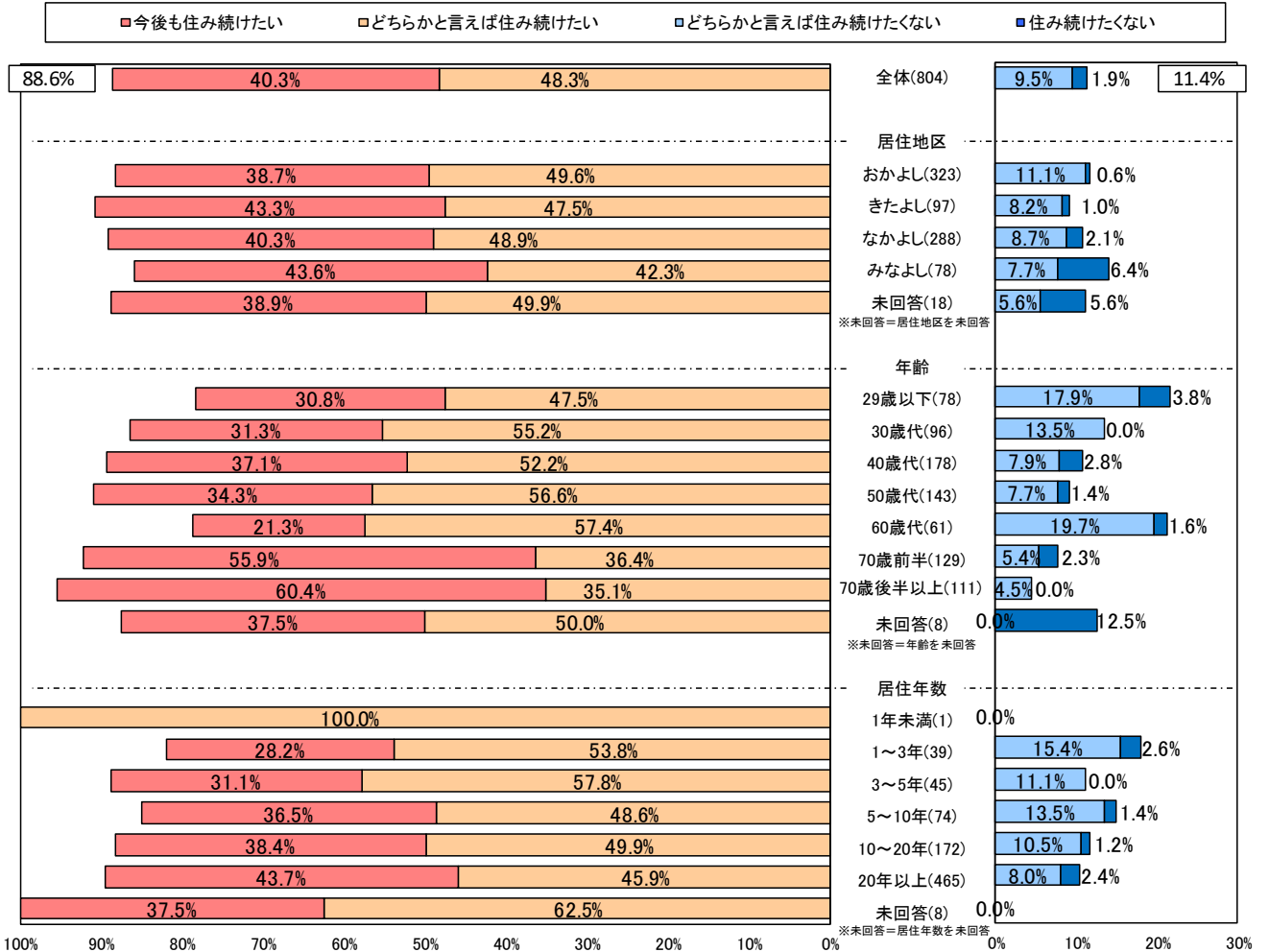
【住みやすさ】



※「居住年数1年未満」の回答が1件のみだったため、上記報告文章内の最大値としては起用していません。

【今後も住み続けたいか】

n=804

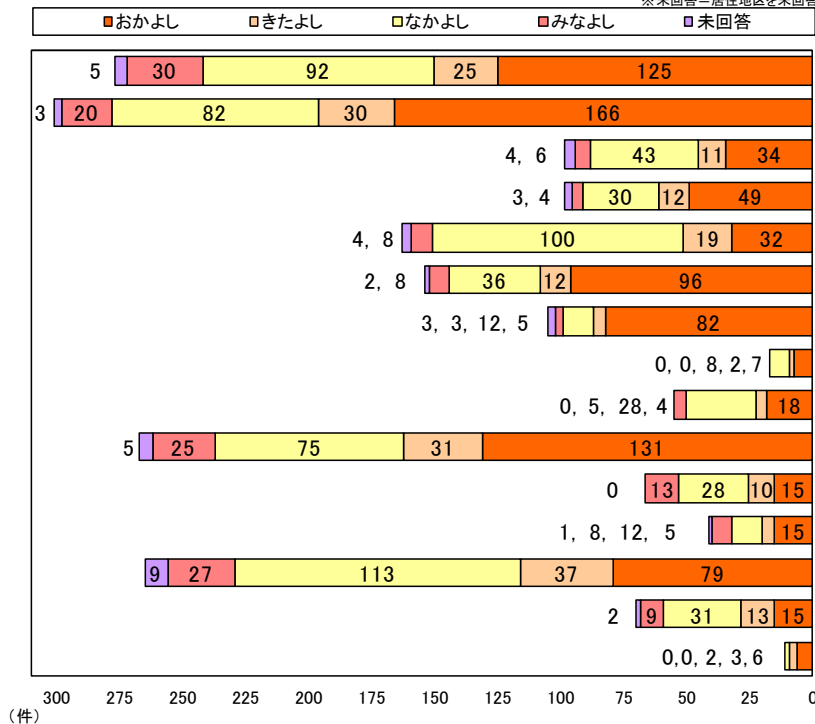


※「居住年数1年未満」の回答が1件のみだったため、上記報告文章内の最大値としては起用しておりません。

n=2,298

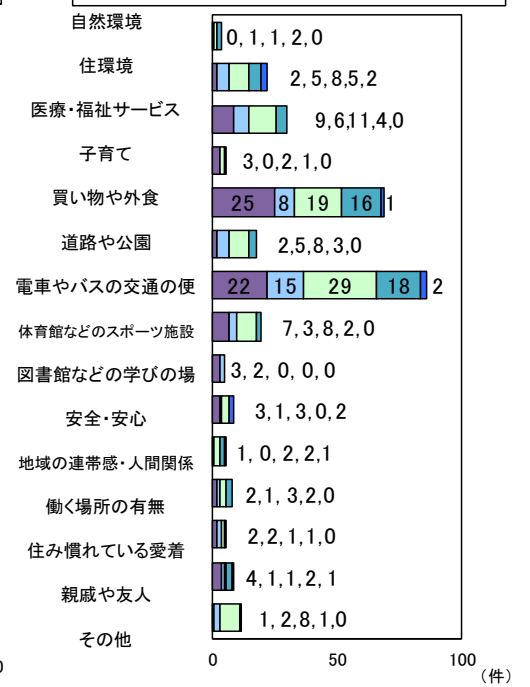
【住みやすいと思う理由】

※未回答=居住地区を未回答



【住みにくいと思う理由】

※未回答=居住地区を未回答

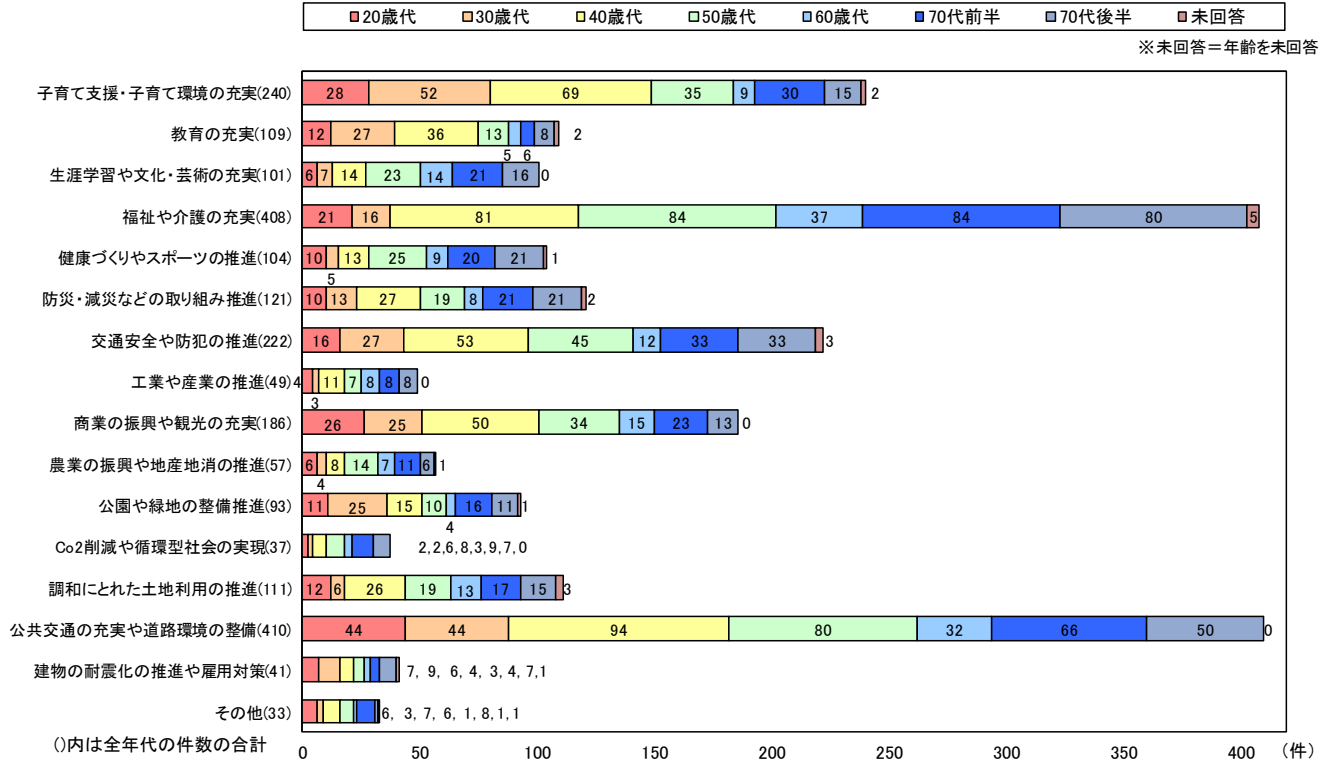


(2) 「住みやすいまち」にするために重点的に取り組むべきことについて

「住みやすいまち」にするために重点的に取り組むべきことの問いに対しては、「公共交通の充実や道路環境の整備」410件(50.2%)が最も多く、次いで「福祉や介護の充実」408件(50.0%)、「子育て支援・子育て環境の充実」240件(29.4%)となりました。(M.T.=284.6%)

【住みよいまちとするために重点的に取り組むこと】《複数回答》

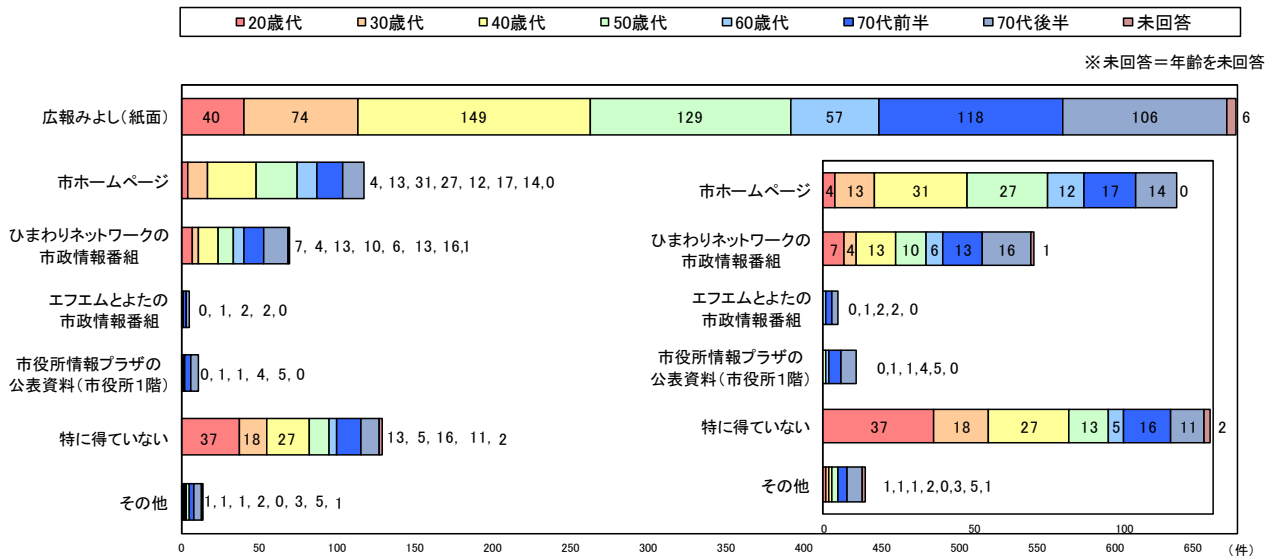
n=2,322



(3) 市政に関する情報の取得手段について

市政に関する情報の取得手段についての問いに対しては、「広報みよし(紙面)」679件(83.2%)が最も多く、次いで、「特に得ていない」129件(15.8%)、「市ホームページ」118件(14.4%)となりました。(M.T.=125.7%)

n=1,026



(4) 市の取組（施策）項目別の満足度・重要度評価

本アンケートでは、第2次みよし市総合計画における6つの基本目標を実現するための手段となる第2次みよし市総合計画に位置づけた取組方針に対する個別の満足度・重要度と、市の取組全体に対する総合的な満足度について調査を行いました。それぞれの項目の選択肢に下表のように評価得点をつけて、回答者による平均得点を算出し評価指標としました。

満足度	得点
満足	5点
やや満足	4点
普通	3点
やや不満	2点
不満	1点

重要度	得点
重要	5点
やや重要	4点
あまり重要でない	2点
重要でない	1点
わからない	—

ア 総合的な満足度(質問8)について

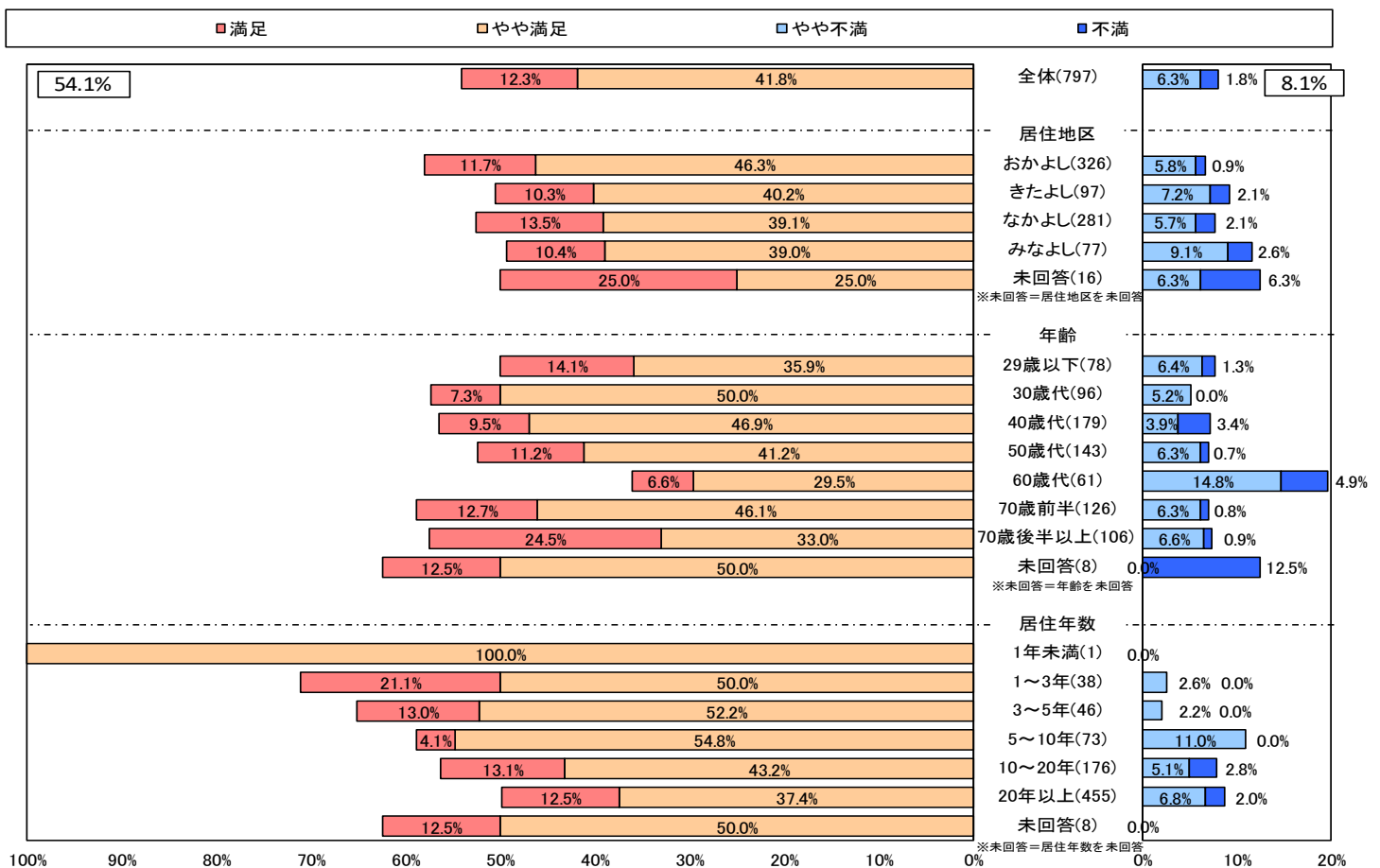
本アンケートによる平均得点は、4.275点の「やや満足」と「満足」の中間の水準であり、調査対象者のうちおよそ5割(54.1%)の人が「満足」、「やや満足」と答えています。

世代別でみると、「70歳前半」の58.8%が「満足」、「やや満足」と答えており、「満足度」が高いことがうかがえます。一方、「満足度」が最も低いのは、「60歳代」で、「満足」、「やや満足」と答えた割合は36.1%にとどまっており、19.7%の人が「不満」、「やや不満」と答えています。

居住年数別では、「満足」、「やや満足」と答えたのは「1年以上3年未満」が71.1%と「満足度」が最も高く、「20年以上」になると49.9%にとどまっています。

【総合満足度】

n=797

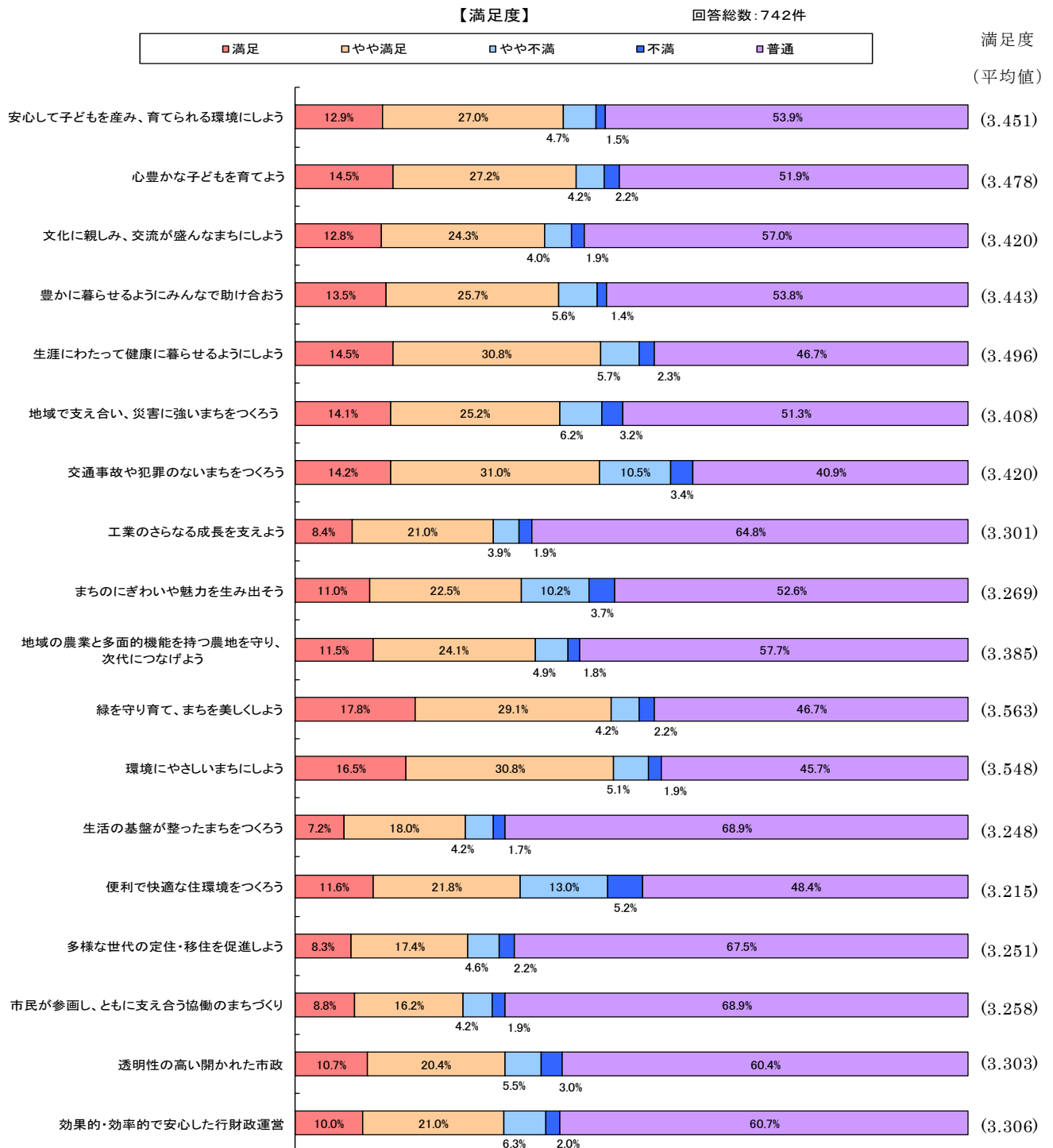


※上記グラフでは「満足」「不満」の数値の見やすさを優先し「普通」と回答した市民の割合は割愛させていただいております。
 ※「居住年数1年未満」の回答が1件のみだったため、上記報告文章内の最大値としては起用していません。

イ 項目別満足度について

項目別満足度の平均得点は 3.376 点で、「緑を守り育て、まちを美しくしよう」の 3.563 点と、「便利で快適な住環境をつくろう」の 3.215 点の間に分布しました。上位と下位の項目は次のとおりです。

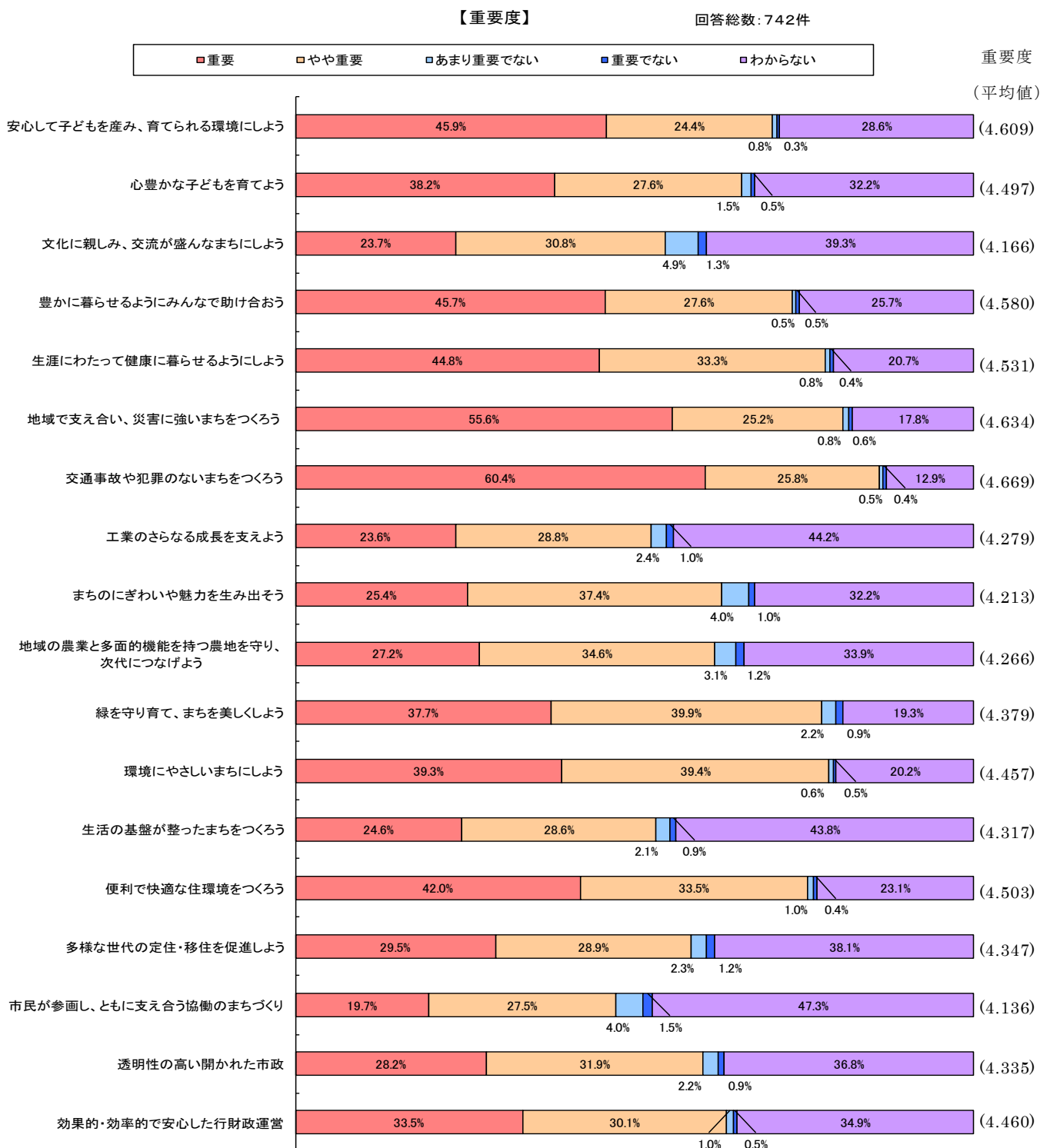
- | | | | |
|----|--------------------------------|-----|--------------------------------|
| 1位 | 緑を守り育て、まちを美しくしよう (3.563) | 14位 | まちのにぎわいや魅力を生み出そう (3.269) |
| 2位 | 環境にやさしいまちにしよう (3.548) | 15位 | 市民が参画し、ともに支え合う協働のまちづくり (3.258) |
| 3位 | 生涯にわたって健康に暮らせるようにしよう (3.496) | 16位 | 多様な世代の定住・移住を促進しよう (3.251) |
| 3位 | 心豊かな子どもを育てよう (3.478) | 17位 | 生活の基盤が整ったまちをつくろう (3.248) |
| 5位 | 安心して子どもを産み、育てられる環境にしよう (3.451) | 18位 | 便利で快適な住環境をつくろう (3.215) |



ウ 項目別重要度について

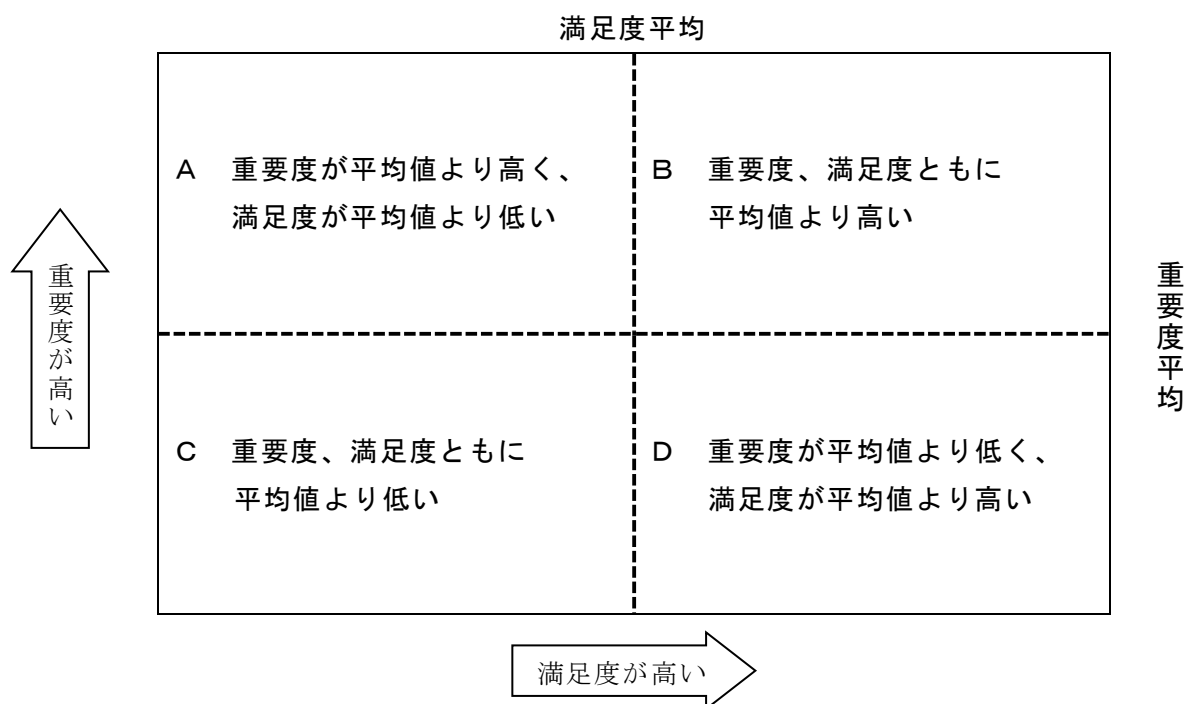
項目別重要度の平均得点は 4.410 点で、「交通事故や犯罪のないまちをつくろう」の 4.669 点と、「市民が参画し、ともに支え合う協働のまちづくり」の 4.136 点の間に分布しました。上位と下位の項目は次のとおりです。

1位	交通事故や犯罪のないまちをつくろう (4.669)	14位	工業のさらなる成長を支えよう (4.279)
2位	地域で支え合い、災害に強いまちをつくろう (4.634)	15位	地域の農業と多面的機能を持つ農地を守り、次代につなげよう (4.266)
3位	安心して子どもを産み、育てられる環境にしよう (4.609)	16位	まちのにぎわいや魅力を生み出そう (4.213)
4位	豊かに暮らせるようにみんなで助け合おう (4.580)	17位	文化に親しみ、交流が盛んなまちにしよう (4.166)
5位	生涯にわたって健康に暮らせるようにしよう (4.531)	18位	市民が参画し、ともに支え合う協働のまちづくり (4.136)



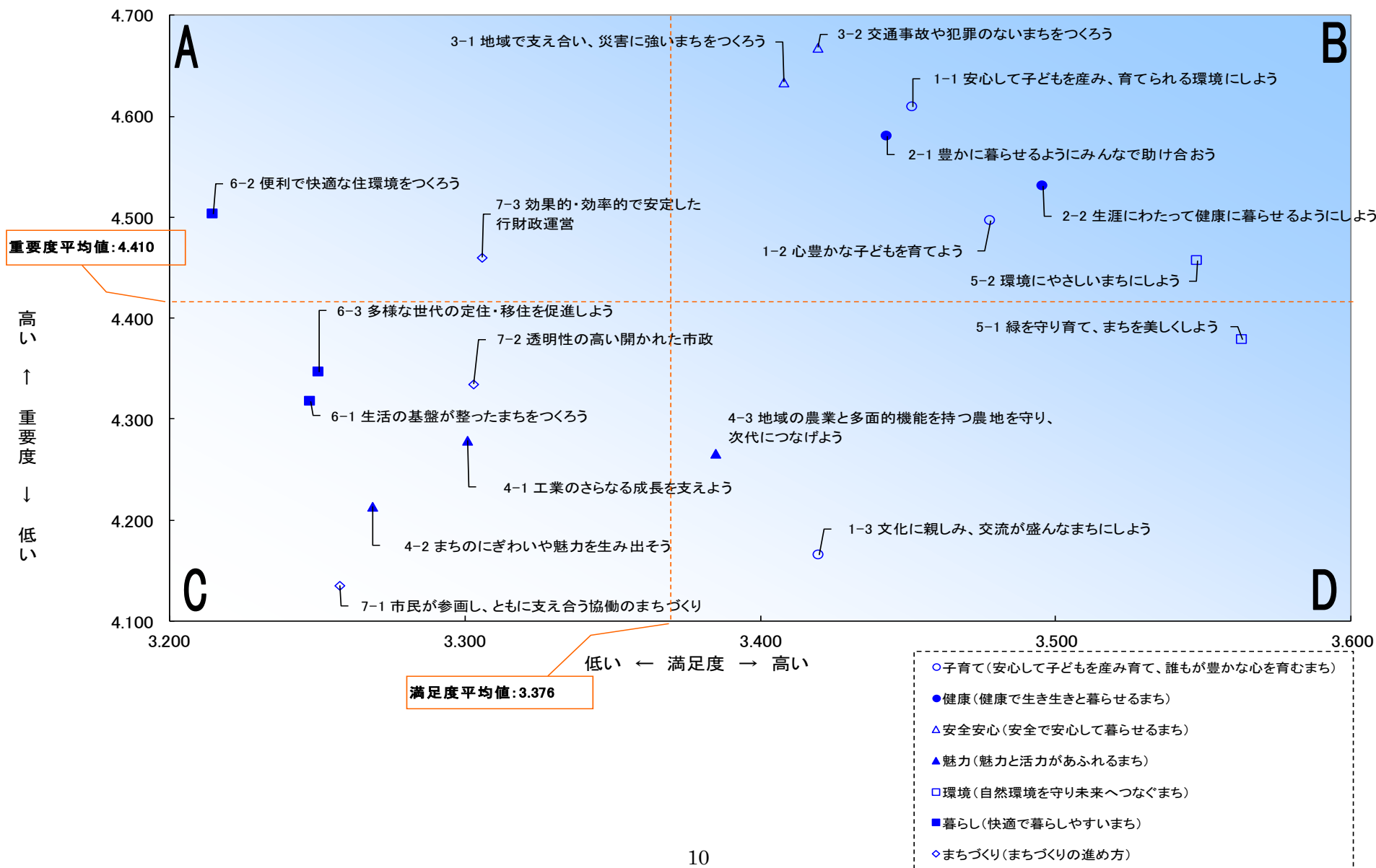
エ 重要度、満足度の平均値散布図による分析（重要度・満足度の散布図を参照）

各調査項目の分布状況については、重要度を縦軸に、満足度を横軸にとり、平均値を基準として次の4つの領域に分類し分析しました。



- Aの領域・・・取組の必要性は十分認識されているものの、満足度が低く、最も充実が求められていると考えられます。このため**従来の取組に改善を加え、さらなる充実を図る必要がある重点項目**としてとらえることができます。
「便利で快適な住環境をつくろう」、「効果的・効率的で安定した行財政運営」などが該当します。
- Bの領域・・・取組の必要性は十分認識され、その取組にも満足されているものと考えられます。このため**今後も現在の水準を維持していく項目**としてとらえることができます。
「安心して子どもを産み、育てられる環境にしよう」、「緑に包まれ、水に親しむ、快適で美しいまち」などが該当します。
- Cの領域・・・取組に対するニーズは低く、満足度も低いものと考えられます。このため、**今後取組の見直しなどを検討する必要がある項目**としてとらえることができます。
「工業のさらなる成長を支えよう」、「生活の基盤が整ったまちをつくろう」などが該当します。
- Dの領域・・・取組の必要性は低いが、満足されているものと考えられます。**今後も現状のまま保つ維持項目**としてとらえることができます。
「文化に親しみ、交流が盛んなまちにしよう」、「地域の農業と多面的機能を持つ農地を守り、次代につなげよう」などが該当します。

令和元年度 重要度・満足度の散布図



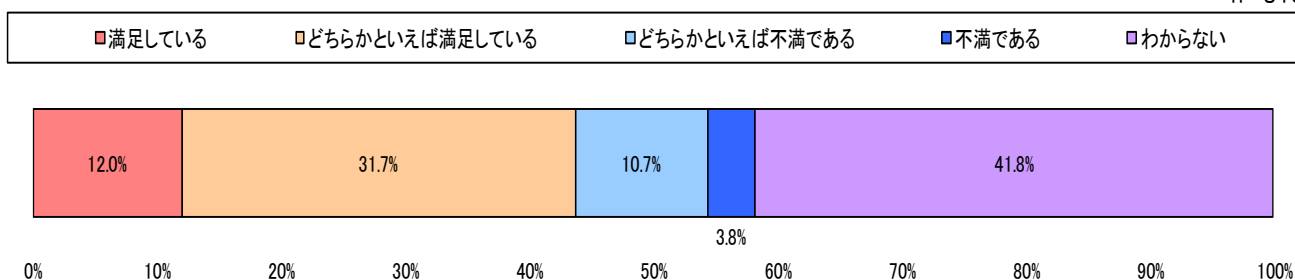
3 その他（市の職員の仕事ぶりについて）

市の職員の仕事ぶりについては、43.7%の人が「満足している」、「どちらかといえば満足している」と答えており、「わからない」を除くとおよそ8割弱(75.1%)の人が“満足している”と評価しています。一方、「どちらかといえば不満である」、「不満である」を選んだ人のうち、もっとも多かった理由は「対応や態度が悪い」で34.7%でした。

その他の意見として、「事務のミスが多い」、「職員の知識不足」等のご意見をいただきました。いただいた意見を真摯に受け止め、市民から信頼される職員を目指し、より一層職員の意識を高めていきます。

【職員の仕事ぶりについて】

n=815



【「どちらかといえば不満である」、「不満である」を選んだ1番の理由】

n=118

